

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	製図	2	3	セラミック	必修	インテリア製図 (コロナ社)

1. 学習の到達目標

<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野の製図に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 工業の各分野に関する製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。</p> <p>(3) 工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
--

2. 学習の評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図面の役目と種類を理解できているか。 ・ 図面の規格についての知識を習得できているか。 ・ かくれ線や中心線が正しくひかれているか。 ・ 投影法について理解しそのかき方の知識の習得ができているか。 ・ 等角図とのかき方についての知識を習得し理解できているか。 ・ 展開図、補助投影図、断面図を正しく描けるか。 ・ 製図用具を用途に応じて使用できるか。 ・ 製図用具の使い方の基本をしっかり身につけているか。 ・ 第三角法における正面図、平面図、右側面図の配置を適切に決められるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品物を見て、第三角法による投影図をえがけるか。 ・ 第三角法による投影図を見て等角図をえがけるか。 ・ 立体の実形を正しくとらえ、各面を一平面上に広げ、展開図としてえがけるか。 ・ 品物の手前の部分を取り除き、残った部分を外形線で表し、品物の内部の形状を図示する断面図を描けるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に授業に取り組んでいるか。 ・ 教科書、製図用具、その他教材等の忘れ物がなにか。 ・ 課題が正しく、明りょうに、迅速に(期限を守り)作成され提出されているか。 ・ 質問や意見を積極的に発表できるか。 ・ あと片付け、掃除がきちんとできるか。
評価の方法	授業態度、学習の取り組み状況、課題などの提出物の状況、定期考査などを総合的に判断して評価します。		

教科からのメッセージ

製図に関する基礎的な知識の習得と、基礎的な作図技法を習得することにより、頭の中で立体を組み立て、それを作品制作にも活用させていくことを目的とする。

年間指導計画 科目名 製図 2 単位 3 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
前期	4	製図の役割	製図に関する技術の活用方法を理解する。
	5	製図と規格 図面の表し方 投影図、等角図のかき方	立体を平面にし、平面を立体にする作図法を学習する。
	6	補助投影図のかき方	補助投影図のかき方を学習する。
	7	展開図のかき方	展開図のかき方を学習する。
	9	製作図のかき方	・単純な形状から複雑な形状の角柱まで 製作図のかき方を学習する。
後期	10	平面図の表現方法	製図の基本的技術である平面図の作図を学習する。
	11		・直線に関する図法
	12		・平面に関する図法
	1		・円に関する図法
	2	・接触角に関する図法	
	2	・曲線に関する図法	
	2	立体の展開図のかき方	基本的な立体の展開図のかき方を学習する。
			・六角柱の展開図
			・六角錐の展開図